

通信小海

ともに生きよ

牧師 水草修治



『わざわいが来た。わざわいが来た。大きな都よ。力強い都、バビロンよ。あなたのさばきは、一瞬のうちに来た。』また、地上の商人たちは彼女のことです。泣き悲しみません。もはや彼らの商品を買う者がだれもいないからです。・・・彼らは、頭にちりをかぶって、泣き悲しみ、叫んで言いました。『わざわいが来た。わざわいが来た。大きな都よ。海に舟を持つ者はみな、この都のおごりによって富を得ていたのに、それが一瞬のうちに荒れすたれるとは。』ヨハネ黙示録十八章抜粋

米国発の金融恐慌と世界経済の大混乱の

ニュースを聞きながら、黙示録にしろされる大バビロン滅亡の記事を思い出した。聖書記者がバビロンと呼ぶのは、栄華を誇るローマ帝国の首都ローマのことである。かつてバビロンが、ある日突然滅びたように、ローマにも神の裁きがかくだと預言しているのである。いや、ローマだけではない。富と欲望が集中する大消費文明の上には、かならず神の裁きか下ると預言しているのである。

富が限られている以上、ある国や、ある地域や、ある階層に富が集中するときには、片方で貧困にあえぐ国や地域や人々が作り出されている。ローマの貴族たちが、あらゆる種類の美味をあげつため、ご馳走を食べるには喉の奥を鳥の羽根でくすぐって吐き出し、また食べては吐きだしていたとき、植民地化された国々の路上には飢えに瀕する人々があふれていた。ごく一部の大商人たちが、庶民から食べ物を取り上げて、高値で

今月の御言葉

ミコトヒノ田で、またまたのため
 求しよたま生言やにたり言した このだ
 こそ主キリストです。ルカ二十一

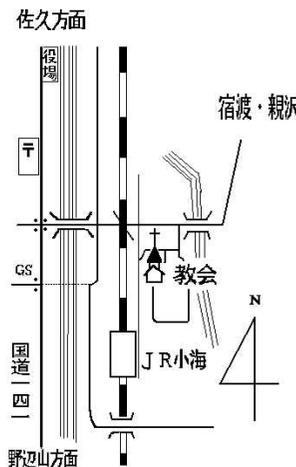
日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治

会堂・牧師館 南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七

〒三八四一一 二二 二六七九二四七七六

〒振替 〇〇五三〇 〇 六一六八三

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半
 夕礼拝 午後八時から九時

*海尻・川上・南相木・甲斐大泉で毎月、
 集会をしています。

*ノ白た車言免強や他ノ白たこ村言
 にも乗ります。

売れるローマに売りさばっていたからである。神がそんな大消費都市を打ち砕かれたとき、大商人たちは買い手がなくなつたと言つて嘆いた。米国経済が急速冷却してしまい、買い手がなくなつたと嘆いている世界の状況と似ている。

私たちはどう考えるべきか。単に景気が回復し元通りになることを望むべきなのか。むしろ神がこの試練を通していつたい何を教えようとしておられるかを、みことばに耳を澄まして悟るべきだろう。

根本問題は、むさぼりである。自分に正当な権利がないものを欲しがる罪をむさぼりという。たとえば 今日の環境問題の本質も、われわれが自然をむさぼつてきた結果である。そもそも無限に消費を拡大し続けなければ成り立たない現在の経済の仕組みは、地球が有限である以上、根本的に欠陥がある。特に小泉・竹中改革で米国から導入され欲望への抑制の効かない新自由主義経済は、格差社会をつくり、地球を滅ぼすものである。

積極的にいえば、神は「共に生きよ」とおっしゃっているのである。「俺さえよければ」というむさぼりの生き方を捨て、大国は小国とともに、人間は自然とともに、そして雇い主は労働者とともに生きよと命じておられるのである。

あちこちで大量解雇のニュースを聞く。景気の良い時はさんざん労働者を利用して未曾有の利潤を貯めこみ、不景気になったとたんに首切りである。「共に生きよ」というみこころを悟ることのない雇い主に対して神は警告なさる。

「見なさい。あなたがたの畑の刈り入れをした労働者への未払い賃金が、叫び声をあげています。そして、取り入れをした人たちの叫び声は、万軍の主の耳に届いています。あなたがたは、地上でぜいたくに暮らし、快樂にふけり、殺される日にあたって自分の心を太らせました。」(ヤコブ書五章)



寒空の下、職を失う人々が急増しています。野宿者に支援のお米を！

世界同時不況のあおりで、失職し、アパート暮らしもできなくなる人が急増しています。倉庫に眠っている昨年収穫したお米で結構です。どうぞ寄付してください。

送付先
▽小海キリスト教会にお持ちくださるが、
南牧村社協へ。

〒384-1302 南牧村大字海ノ口966 1
5 南牧村社会福祉協議会 気付 山谷農場

* 着払いによる送付はご遠慮ください。荷札に「木曜午後送付希望」とお書きください。

山谷農場事務局 (藤田 寛) 小海町芦谷ヒルサ

イドコーポ 一 二号室毎週金曜・土曜はあります。

電話 090・1436・6334

〒384-1302 南牧村大字海ノ口966 1

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

カンパ 三 振替 一四 四 五三七九六

小さな手



ひとときわ輝く星の光が小さな厩を照らした。
冷たい風 心までつらぬく この世界に。
罪の重さを知った私は心震わせて向かった、
小さな灯りともるあなたがいるその部屋へ。
あなたは今この中に飼葉桶で眠っている。
そつと触れた小さな手は、私のため傷つくこ
と知ってるのに、やさしく握り返した、
私にほほえみながら。

冷たさに凍えた手のひらに温かな涙落ちて
く。変わらないもの求めては傷ついた日々の
中で痛む心かかえた私は、声を震わせて泣い
た。ありのままの姿を包みこむ愛の中で。
あなたは今この中に飼葉桶で眠っている。
そつと触れた小さな手は、私のため傷つくこ
と知ってるのに、やさしく握り返した、
私にほほえみながら。

作詞・作曲 若林栄子

クリスマスが近づき、教会で賛美歌の練習
が始まりました。その一つが「小さな手」。
二千年前ユダヤのベツレヘムの厩（うまや）
に生まれた赤ん坊イエスの小さな手を歌っ
た新しい賛美歌です。その新しいリズムにお
じさんがついていくのは最初たいへんでし
たが、繰り返し歌ううちに、じわじわと感動
が胸にせまってきました。

神の御子イエスがご自分の産屋として選
んだのは、輝かしい王宮ではなく、小さく不
潔な厩でした。イエスが罪に汚れた私たちの
救いのために来られたことを象徴するので
しょう。正直に自分を振り返ってみれば、私
たちは人を傷つけ、神を無視して大きな罪、
小さな罪を犯して生きているのではないで
しょうか。

私が小学校に入学してまもないある日、担
任の大村先生がおっしゃいました。「おkaa
さんに、プリントを入れるための連絡袋をつ
くってもらって来なさい。」それで、母はピ
ンクの柄の包装紙を切って、上手に袋を作っ
て持たせてくれました。

翌日、朝の会で先生が「ではみなさん連絡
袋を出してください。」とおっしゃいました。

振り返って、いすの背にかけてあるランドセ
ルから母が作ってくれた袋を出そうとしま
した。すると、後ろの席の、今は名前も忘れ
てしまった大柄の女の子が、自分の茶色の袋
をハサミで半分にちよきちよきと切ってい
るではありませんか。今になって考えれば、
できあいの大きめの袋をもらってきたので
半分に切って提出しようとしていたのでし
ょう。でも、私はその時なぜか「ああ、袋は
半分に切って出すんや。」と思い込んで、自
分もハサミを出すと、せつかく母が作って
くれたちょうどよい大きさの袋を半分に切っ
てしまったのです。

さて、子どもたちが順順に先生の教卓にお
かあさんにもらった袋を提出していきます。
大村先生は半分にちよん切ってしまった袋
を見ると目を丸くして大きな声でおっしゃ
いました。「水草君。なぜおかあさんがせつ
かく作ってくれた袋を半分に切ってしまった
んですか。」私は怖くなって思わず、「私の
後ろの席のあの子が『半分に切れ』と言った
んです。」とあの子を指差してしまいました。
その女の子は、なにがなにやらわからない
まま先生に叱られて、ぼろぼろ涙を流して

いました。私は、それを黙って見ていました。けっきょく私は先生には罪を告白しなかったし、その女の子に謝りもしませんでした。私はなんと卑劣な人間でしょう。恥ずかしい思い出です。あの罪の記憶は、私の中に生々しく刻まれたままです。子どもには罪がないというのはつそです。少なくとも、この私は子どもの頃から今日にいたるまで、神の前に意識して、あるいは無意識で、教え切れないくらい罪を犯して来ました。まちがいに、私には地獄がふさわしいのです。

イエスは、そういう醜い私の罪を、そしてあなたの罪を担うためにもベツレヘムの厩に生まれてくださいました。あの小さな手には、三十三年後、イエスを十字架にはりつけにするくぎが打ちこまれるのです。そのことを思うと、「そつと触れた小さな手は、私のため傷つくこと知ってるのに、やさしく握り返した、私にほほえみながら。」という詞が胸に沁みます。

クリスマスは、罪ある私たちを救すために、神の御子が人となって生まれてくださった尊い、ありがたい記念日なのです。このクリスマス、あなたも教会へどうぞ。

クリスマスは

あなたも教会へ！

クリスマス礼拝

二十一日（日）午前十時から十一時半

聖書からクリスマスの感動のメッセージを。

お昼ですから、凍結の心配がありません。

劇「三浦綾子の珍版舌切り雀」

同日（日）午後二時・二時四十分

『氷点』『塩狩峠』の作者三浦綾子さんのシナリオによる面白く、かつ、深い『舌切り雀』を熱演します。

クリスマスイブ礼拝

二十四日（水）午後七時半から八時半

クリスマスのお祝いは、やっぱり夕べにという方は、イブ礼拝にお越しください。

五本目のローソクが灯されて、クリスマスの特別賛美と、愛のメッセージに耳傾け、聖なる夕



冬休みのおたのしみ会

十二月二十七日（土）午後一時半

わたあめ作り、ポップコーン作り、ゲーム、歌、お話

終業式の翌日は、教会でおとなも子どももおたのしみ会に！